

(別紙4(2))

事業所名: グループホームありあけ

目標達成計画

作成日: 令和 3年 4月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	“身体拘束をしない支援”に努めており、実践できているが、身体拘束を行う場合の3つの要件と具体的な拘束の内容を全職員が周知していない。	身体拘束を行う場合の3つの要件と具体的な拘束の内容を全職員が理解する。	3つの要件と具体的な拘束の内容を、目につく場所にファイリングし年4回の研修会でも毎回 周知を図る。	12ヶ月
2	35	災害避難時に、個人の特定・必要な情報等を個別に準備はしているが、誰が持ち出すのかが決まっていない。	災害避難時の、各スタッフの担当をマニュアル化し、周知徹底する。	・災害避難時について話し合い、各担当を決める。 ・個人別に、必要な情報を首さげファイルで準備する。 ・持ち出しやすようにリュック等に入れて出入口に準備しておく	4ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。